

## 「トライし続ける不屈のまち」を目指して

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、それぞれの思いを胸に新春を迎えたことと心よりお祝い申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が暮らしや生活に大きな不安を与えた一年でした。終息を願いながら、引き続き感染予防・地域経渉への対策を行つてまいります。市民の皆様にはあらためて「新しい生活様式」の実践と冷静な対応をお願いします。

一方、ラグビーワールドカップ1周年メモリアルイベントの開催や橋野鉄鉱山の世界遺産登録5周年、金石港のポートオブザイヤー2019選出など明るい出来事もありました。ご理解・ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、本年3月、東日本大震災から10年を迎えます。市は震災後「住まいの再建」「なりわいの再生」「基盤整備」を復興の柱と位置付けてきました。発災から10年となる令和2年度中の完遂を目指してまいりましたが、一部、住宅再建と基盤整備に遅れが出る見込みです。令和3年度中にこれらを完了できるよう、さらに気を引き締めて取り組んでまいります。

また、被災された皆様の「心の復興」は10年という区切りで終わるものではありません。継続すべきものはこれからも取り組み、最後のお一人まで寄り添つてまいります。

さらに、近年激甚化する自然災害への備えが必要です。令和元年台風第19号では尊い人命を失うなど、甚大な被害がありました。また、内閣府が公表した「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」では従来予想よりも浸水区域が広がる可能性も示唆されています。過去の教訓、また最新の知見を生かし、人命・財産を守る対策を行つてまいります。

本年は屋形遺跡（唐丹町）が国史跡に指定される見込みであることや、オリンピック・パラリンピック「復興『ありがとう』ホストタウン」の実施、防災推進国民大会2021の開催など、明るい取り組みも多く予定されています。令和3年度にスタートする第六次金石市総合計画では、これからますます厳しさをます環境の中でも地域の強み・魅力を生かし「トライし続ける不屈のまち」をスローガンに「釜石の発展」と「一人ひとりの幸せ」の実現に向けて全市民参加で取り組んでまいります。

結びに、これまで復興にご支援いただいた皆様への感謝を申し上げるとともに、本年が皆様にとって良い一年となるようご祈念し、年頭のあいさつといたします。

釜石市長 鈴田武則



## 日本製鉄(株)から

### 県指定文化財「紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図」が寄贈されました

11月28日に行われた「橋野鉄鉱山世界遺産登録5周年記念シンポジウム」で、日本製鉄(株)が所蔵する文化財が市に寄贈されました。

日本製鉄(株)東日本製鉄所の大津芳久副所長(釜石地区代表)から野田市長へ目録が贈呈され、市から大津副所長に感謝状を贈呈しました。

「紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図」を公開します

場所 鉄の歴史館

日時 1月8日(金)~9日(土) 9時~17時(最終入館16時)

入館料 小中学生 150円 高校生 300円 一般 500円

※1月9日 9時~12時は名誉館長講演会を開催するため入場無料

お知らせ

紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図を公開します



橋野二番高炉湯口前之図

橋野二番高炉ヲ分開シテ湯口ノ方ヨリ見ルノ図

高炉は内側より堀瓦・身瓦(耐火レンガ)、石灰、甘石、たたき石、胡麻石(花崗岩)と6重構造となっています。二番高炉は花崗岩が上まで積まれるため小さめの石材となっています。



湯口前動之図

出銘のシーンです。5人の男が棒で突いて炉に穴を開け、その穴から溶解した鉄が高炉手前の砂場にたまります。高炉前の3人は熱除けの簾を押さえ、手前の男は鉄に炭を振り掛けています。



橋野鉄鉱山御山内略図

橋野鉄鉱山高炉場の鳥瞰図です。二又沢の東側段丘上に立地し、沢から水路を引き、水路沿いに右(南)から左(北)に一番、二番高炉、仮高炉(当時不用)があります。中央部の大門の右には鍛冶長屋と大工長屋、長屋、種碎水車場が、奥には御日所、山神社があります。発掘調査では本図の配置とほぼ同じように遺構が検出されています。



鉄鉱山元山金堀動之図

3人の男が鉄槌や鉄楔で露出した鉄鉱石を探掘しています。採掘場は高炉場の南約3kmにあり、鉄鉱石の層が所々露出した箇所が見られ、採掘された箇所は窪地となっています。

## 釜石の歴史よもやま話

釜石の鉄学編 番外編

問い合わせ

市世界遺産課

22-8846